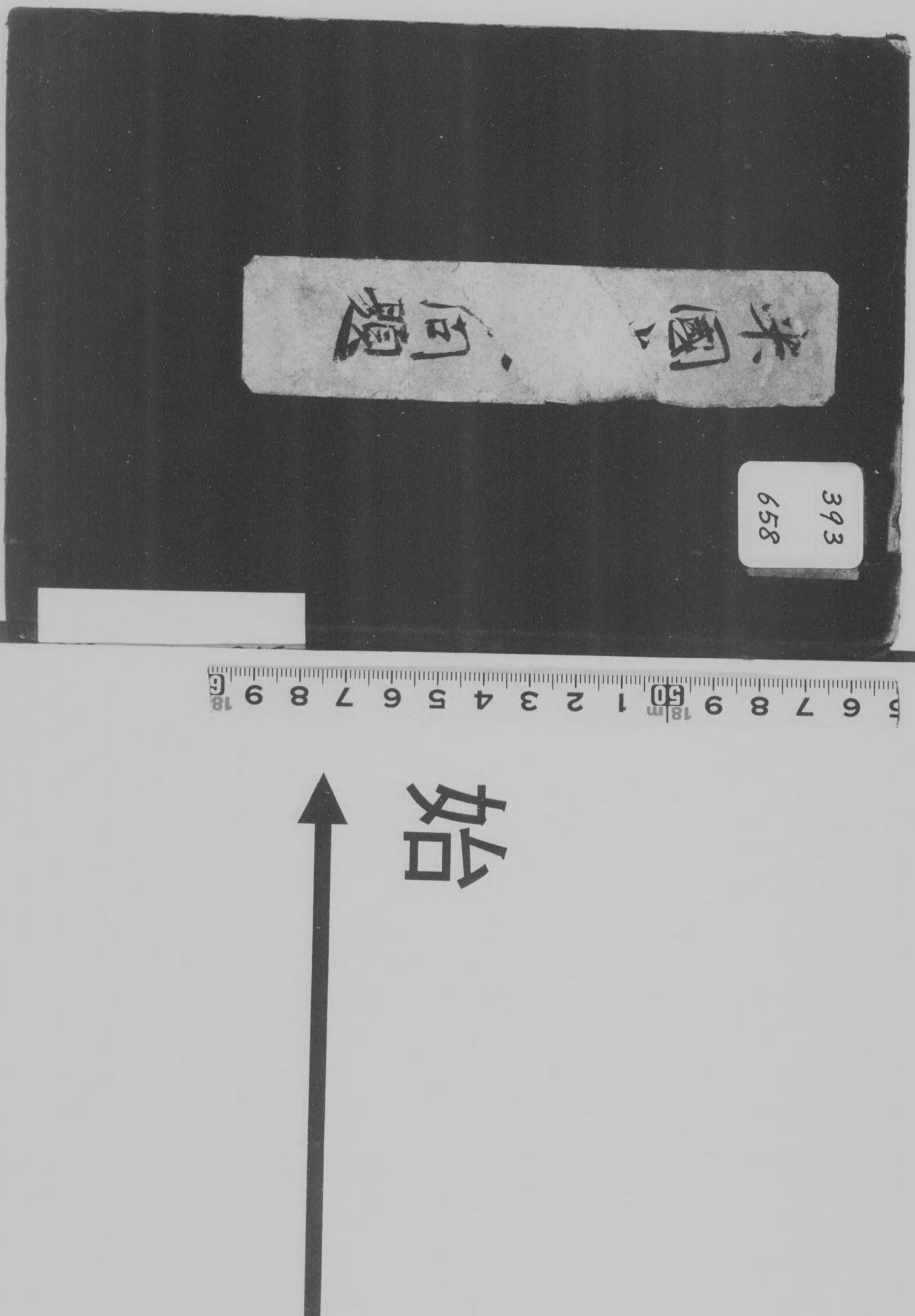
393
658

米國と小麥問題

丁數
■西北部百姓の窮狀……一
■銀行の休業續出……四
■小麥相場と物價……六
■不況の原因……八
■小麥の產額と輸出高……一一
■生產過剩……一六
■救濟の方法……二一

本年々頭の辭に於て米國大統領は『米國の景氣は本年も引續いて良いと思ふ。尤も小麥栽培者丈けは別である。』と言つた。又近頃喧しい問題の米國商船法第二十八條復活に際しても『穀類丈けは適用せぬ』と云つてゐる。實際小麥問題は船舶問題と共に米國の二大癌腫である。此の癌腫はどういふ原因で容体はどうか、此の小册子を書いて讀者に頒つのもその概要を御知らせし度い目的に外ならぬのである。

大正十三年五月

國際通信社

393-658

米國と小麥問題

◉西北部百姓の窮狀

『小麥を作つてゐたお蔭で俺等はもうすつかり參つてしまひました。これからは一つ工夫を替へるか、それが出來なければ俺等はもう小麥を作るのを罷めるより外に仕樣が御座いません。』

今斯う言つて怒鳴つたのは赧ら顏をした廣い肩付きの胸の大きい太い手をした米國の百姓である。時は一九二四年一月某日、所は米國首府華盛頓の國會議事堂に於ける下院分科委員會の一室である。この百姓は近頃華盛頓でも大問題になつて居る米國の西北部地方からやつて來た者である。彼が來た用向きは近所のお百姓連から賴まれて自分等の村の慘めな窮狀を代議士に訴へ政府の救助を乞はん爲めである。彼は今米國

大正
13. 6. 6
内交

下院の農業委員の面前てその窮狀を荐りに說明してゐる所てある。

下院の此の分科委員室は堂々たる部屋て壁には色々な額が掛つてゐる。部屋の片側にはガッシリした卓子が据ゑられ、綠色のテーブル掛が掛けてある。そのぐるりには代議士連が旋回椅子に納まり返つてゐる。部屋の他の側には右の百姓の外に尙多數の百姓や其他の請願者連が議員のテーブルの傍まて一杯詰め掛けてゐる。然しこの立派な部屋の中ては西部諸州に於ける經濟界の大動搖、これに伴れて銀行の破產頻出、百姓の窮狀等の恐しい狀態は議員連にはどうも呑込み難い樣子である。一人の代議士は尋ねた『それてはお前さん方百姓は小麥を作るのを罷めねばならぬと仰しやるのか。』

『もう罷めたものも大分ありますだ。何しろ畑を失くして、何所かへ行つて終ひましたのてね。』

件の百姓はかう答へた。次いて外の百姓も何か言ひ添へた。又同地方から出て來た銀行家や實業家、それに大學の敎授も夫々說明した。こんな具合の陳情が幾日も續いた

その結果遂に議會の農業分科委員はこれが救濟手段として種々の法案を議會に提出する事になつた。

西北部かち出て來た陳情者が政府に求める所を大別すると左の三点てある。

(一)目下非常な窮狀にある百姓に政府が金を融通して、現在小麥栽培の一手て暮してゐる百姓を追々外の農事をも始め得させる事。

(二)現在農產物の相場は甚しく暴落して生產費以下となり、百姓は非常な損をしてゐる有樣てあるから、政府は之れが調節機關を設けて相場を引上げる事。

(三)百姓が使ふ日用品の物價を引下げる事、且つ特に農產物を市場へ輸送する運賃を引下げる事。

この小麥問題は米國に於ては中々の重大問題てある。過去三年間に涉り小麥の相場が非常に暴落した結果、米國の小麥百姓二百萬人は甚しい生活の困難を嘗めてゐる。とりわけ西北部諸州ては茲二三年小麥が不作てあるのと相場の暴落との爲に之等の地

方の百姓は非常な困弱に陥つてゐる。この百姓の數は約二十五萬人に及ぶのである。就中最も酷い地方はミネソタ、北ダコタ、南ダコタ、モンタナ、アイダホの各州並にワシントン州の一部である。

◉銀行の休業續出

百姓の困窮と同時に西部地方の銀行も苦境に陥り休業續出の狀態となつた。この結果同地方の一般經濟界にも大動搖が起り、米國西北部地方一帶に恐慌が惹起されたのである。

銀行破產の最大原因は矢張り小麥問題である。戰時米國產小麥の需要激增と價格昂騰を見た百姓は當時盛に手を擴げた。卽ち盛に土地や家畜を買ひ込み增產を圖つたのである。これは自然二つの結果を生ずるに至つた。一つは購買力が膨脹した爲に物價が急騰した事である。他の一つは買入資金を銀行に仰いだ爲め百姓が尠からぬ負債を

持つに至つた事である。

所が戰後の反動時代に入ると小麥の需要は減少し相場は急落した。この結果百姓は銀行に借りた金を返却する事が出來なくなつた。金を貸した銀行では資金の回收は出來ず擔保に取つた土地や小麥や、有價証券の價格は下り、どうにも動かなくなつたのである。これは一九二〇年から二一年に掛けての出來事で當時既に一九〇七年の大恐慌時代より更に甚しい恐慌が起らんとしてゐたのである。然しこの狀態を見ると米國の聯邦準備銀行は打ち捨て置けず臨機の救濟をしたので兎に角最近まで持ち堪へて來たのである。基礎の固い銀行は聯邦準備銀行の出動に依つて漸く回復する事が出來たが、基礎の弱い荷の勝ち過ぎた小銀行は回收の見込みのない反古同樣な擔保を抱へてはどうにも仕樣がなくなつた。殊に昨年（一九二三年）產の小麥は益々安くなり剩さへ春蒔小麥は不作であつた結果春蒔小麥の出來る西北部地方の多數小銀行は遂に休業するに至り恐慌狀態を惹起したのである。

西部地方銀行の破産は主として右の原因に因るのであるが他にも尙一つ原因がある。これは同地方に銀行の數が多過ぎる事である。昨年末の調査によれば北ダコタ州には八百三十一の銀行があるがこれを人口に割り當てると七百七十八人に就き銀行が一つ宛ある譯になつてゐる。南ダコタ州では六百八十七行あつて九百二十六人に就き一行の割合である。然るに東部地方を見ると非常な差である。卽ちオハイオ州には千百十六の銀行があるが人口に割當てると五千百六十一人に就き銀行一つの割合となつてゐる。これによつて見ても西北部地方の銀行數が多過ぎる事が破産續出の原因の一つであることは明かである。

◉小麥相場と物價

百姓が困るのは小麥の相場が下つたからであるが、小麥が下るに連れて物價も下れば同じ譯である。然し實際は物價の下る率は到底小麥が下る率に及ばなかつた。百姓はこれが一番苦しいのである。卽ち百姓の必要とする用品や小麥の運賃は一向下らないのである。歐洲大戰前に於ける小麥一ブッシェルの購買力と茲二三年間に於ける小麥一ブッシェルの購買力とは非常な差が生じて來た。これを實證する爲に米國農務長官から大統領に宛てた報告を摘記して見やう。曰く

『米國西北部の北ダコタ州では十年前には小麥二十一ブッシェルで百姓の着物が買へたが今では三十一ブッシェル出さねば買へぬ。百姓の使ふ荷車は十年前には小麥百三ブッシェルで買へたものであるが、昨今では小麥百六十六ブッシェル持つて行かねば荷車を手に入れる事が出來ない。』

戰前五ケ年（一九〇九年—一三年）に於ける小麥一ブッシェルの購買力は平均一弗であつたが現在小麥一ブッシェルの購買力は僅か六十仙にしか當らぬ狀態となつてゐるのである。

今小麥相場と物價とを比較して見ると左の如くである。

（市俄古定期相場と勞働者調査の物價指數）

	最高	最低	平均	物價指數
一九一三年	○・九八・¼ 弗	○・八四 仙	○・九八・六 弗	一〇〇
一四年	一・三二	○・七六・⅝	一・〇〇・五	九八
一五年	一・六七	○・九三	一・三〇・七	一〇一
一六年	一・九五・¾	○・九九・½	一・三五・一	一二七
一七年	三・二五	一・五四・½	二・二七・八	一七七
一八年	二・四二	二・一七	二・二〇・九	一九四
一九年	三・五〇	二・二〇	二・五三・七	二〇六
二〇年	三・五〇	一・五〇・½	二・五二・二	二二六
二一年	一・八七	一・〇三・¼	一・四三・七	一四七
二二年	一・四九・⅞	一・〇四・½	一・二四・一	一四九
二三年	一・二七・¼	○・九六・¾	一・一七・一	一五四

◉不況の原因

米國西北部の百姓が昨今非常に窮境にあるのは二つの原因がある。一つは今に始つた問題ではなくズット遠くからの事である。今一つは戰時戰後の增產とこれに伴ふ價格下落である。扨てその遠い原因とは何を指すのであるか。

抑々米國のこの西北部地方が世界の小麥供給地となるに至つたのは今から四、五十年前の事である。その當時この地方では勞銀も安く、運賃も安く土地も安く其の上處女地であつた爲め小麥の栽培は急激に發展し多量の輸出が出來る樣になつたのである次いで政府は同地方に外國移民の入國を許した。この結果スカンヂナヴィア人、獨逸人、英國人等が多數に移民する樣になり之等が一樣に小麥の栽培をする樣になつたのである。然しこの地方で作る小麥の種類は西南部地方の小麥とは少しく違つてゐた。これは氣候の關係上冬蒔が出來ないので自然春蒔を作る樣になり、小麥の質も多少堅いのが特色であつた事である。然るに同地方に於ける小麥の栽培が漸く緒に就いた時分には既に外國でも澤山小麥が取れる樣になりあまり儲からなくなつた。この結果玉蜀黍の出來る畑は玉蜀黍を作り、牧畜に向く所は牧畜が行はれた。又ウイスコンシン州やミネソタ、アイオワの一部では搾乳が非常に盛になつたのである。地方の學校で

も非常に力を入れて宣傳し、一種類の收穫に手賴らず各種の農事をも併せ營む樣荐りと百姓に敎へた。然し之れは中々全般に亘つて實行されず、小麥ならば小麥だけの收穫を當てにして生活する百姓も相變らず多かつたのである。故に一度不作が起るか、農產物の相場が下ると忽ち昨今の樣な窮地に陷るのである。

而して近因は歐洲大戰とこれに伴ふ生產過剩に在る。今迄不況に困つてゐた米國の小麥百姓は歐洲大戰勃發に依つて景氣が丸て一變した。大戰が追々進むに連れ海上運輸は甚だ困難となつたので英國始め其他歐洲諸國は濠洲、印度、アルゼンチン等から小麥を輸入する事が難しくなつた。加之戰前大輸出國であつた露國からは小麥が入つて來なくなつた。茲に於て地の利を占める米國と加奈陀からの輸出が自然增加する樣になつたのである。從つて米國と加奈陀に於ける小麥の需要は激增し相場は奔騰するに至つた。之を見た米國の百姓は好機逸すべからずとなし荐りに小麥の增產に努力したのである。一方米國に於ける相場は一九一七年の夏には一ブッシェルに付三弗二十五仙と云ふ未曾有の高値を生んだのである。當時の米國大統領故ウイルソン氏はこの相場を見て餘りに突飛であるとし小麥價格調査委員會に命じて一ブッシェルに付二弗二十仙に引下げしめた位である。然るにこの公定相場は一九二〇年六月末を以て打ち切りとなつた。これと相前後して小麥の需要は弗々減退し始め又一般諸相場も反動安を呈した爲め小麥の相場はこの影響を受けて一氣に崩落した。僅かそれより六箇月後に於ては小麥は他の一般物價に較べて著しい安値を示す樣になつたのである。その後も殆ど續落する一方で今日に及んでゐる。

◉ 小麥の產額と輸出高

米國が小麥供給國として如何なる地位にあるかを示す爲には先づ世界の大勢を語る必要がある。小麥の主要產地は米國、露國、印度、加奈陀、濠洲、アルゼンチン等である。之等各國は自國の消費を除き尙多量の剩餘があるから外國へ輸出する事が出來

る。今之れを世界大戰前五ヶ年間に依つて示すと左の如くである。

（一九〇八―九年より一九一二―一三年迄の平均、北半球に於ては八月より翌年七月に至る年度、南半球に於ては一月より十二月に至る年度である。單位百萬プツシエル）

	生産高	消費高	輸出高
墺匈國及バルカン諸國	三六五	三〇九	五六
露西亞	七三五	五八四	一五一
アルゼリヤ	三四	二九	五
印度	三二四	二七六	四八
加奈陀	一七三	九四	七九
米國	六六七	五七〇	九七
アルゼンチン	一五七	六二	九五
智利	二二	二〇	二
ウルゲー	七	六	一
濠洲	八二	三三	四九
合計	二、五六六	一、九八三	五八三

一方小麥の輸入を必要とする國は主として歐洲諸國で、これは英國を第一として獨佛、白、伊、和等である。戰前五ヶ年に於ける之等各國の生産高、輸入高、消費高を示すと左の如くである。

（一九〇九年より一九一三年までの平均、單位百萬プツシエル）

	生産高	輸入高	消費高
白耳義	一五	四九	六四
丁抹	五	六	一一
佛蘭西	三一七	三三	三五〇
獨逸	一四五	六七	二一二
伊太利	一七一	五三	二二四
和蘭	五	二〇	二五
諾威	―	三	三
西班牙	一三二	四	一三六
瑞典	八	七	一五
瑞西	三	一六	一九
英吉利	五九	二一二	二七一
合計	八六〇	四七〇	一、三三〇

戰前の需給關係は右の如くであつたが大戰開始と同時に歐洲各國の生産は激減しその不足は主として南北亞米利加から輸入せねばならなくなつた。この結果米國及び加奈陀の生産と輸出が激增した事は前述の通りである。歐洲各國の生産は休戰と同時に大分回復したがそれでも尙多量の小麥を南北アメリカから仰がねばならぬ狀態であつた。今一九二二—二三年に於ける主要輸出國の生産高並に輸出高を戰前と較べると左の通りである。（單位百萬ブッシェル）

	生産高 一九二二—二三年	生産高 戰前比增	輸出高 一九二二—二三年	輸出高 戰前比增（▲印減少）
加奈陀	四〇〇	二二七	二七七	一九八
米國	八五六	一八九	一九五	九八
印度	三六七	四三	二九	▲一九
アルゼンチン	一八九	三二	一二六	三一
濠洲	一〇七	二五	六八	一九

又同期間に於ける歐洲主要輸入國に於ける需給關係を戰前に比較すると生産高は一億五千萬ブッシェルの減少、消費高は一億三千萬ブッシェルの減少である。然るに輸入高は反對に二千萬ブッシェルの增加を示してゐる。而して戰前には一億五千萬ブッシェルの輸出可能量を有する露國から供給を受ける事が出來たが、戰後は露國があの通りの狀態となつた爲め輸入する事が出來ず墺匈國並に印度からの輸入も激減した。この多量の不足は殆ど南北アメリカから供給して貰はねばならなかつたのである。今之れを表で示すと左の通りである。（單位百萬ブッシェル）

△一九二二—二三年

	生産高	輸入高	消費高
白耳義	一一	三八	四九
丁抹	九	六	一五
佛蘭西	二四三	三七	二八〇
獨逸	七二	三六	一〇八
伊太利	一六二	一〇七	二六九
和蘭	一五	二五	三〇
諾威		六	七

西班牙	一二五	八	一三三
瑞典	九	六	一五
瑞西	四	二〇	二四
英吉利	六五	二〇四	二六九
合計	七〇六	四九三	一、一九九

△戰前と比較

	戰前	一九二二—二三年	比較
生産高	八六〇	七〇六	一五四減
輸入高	四七〇	四九三	二三增
消費高	一、三三〇	一、一九九	一三一減

前表によつて見ると米國は一九二二—二三年度に於て生産高八億五千六百萬ブッシエルの内一億九千五百萬ブッシエルの輸出を行つてゐる。これを戰前の輸出高に比較すれば尙二倍に當つてゐる。然し乍ら輸出の盛況も同年以來漸く衰退の模樣がある。本年度(一九二三—二四年)に於ては甚しく減少する模樣である即ち或る人の調査によれば昨年(一九二三年)七月より十二月迄六ケ月間の輸出高は八千四百萬ブッシエルで前年同期の一億三千五百萬ブッシエルに較べると大激減であるとの事である。

米國の小麥輸出高は左の通りである。(毎年六月を以て終る年度)

一九〇九年	一一四、〇〇〇、〇〇〇ブッシエル
一〇年	八七、〇〇〇、〇〇〇
一一年	六九、〇〇〇、〇〇〇
一二年	七九、〇〇〇、〇〇〇
一三年	一二二、〇〇〇、〇〇〇
一四年	一四五、〇〇〇、〇〇〇
一五年	三三二、〇〇〇、〇〇〇
一六年	二四三、〇〇〇、〇〇〇
一七年	二〇三、〇〇〇、〇〇〇
一八年	一三三、〇〇〇、〇〇〇
一九年	二八七、〇〇〇、〇〇〇
二〇年	二一三、〇〇〇、〇〇〇
二一年	三六六、〇〇〇、〇〇〇
二二年	二七九、〇〇〇、〇〇〇

二三年　一九五、〇〇〇、〇〇〇

米國からの小麥輸出が右の如く減少して來たのは戰時戰後の非常狀態から平時の狀態に追々戻つて來た事を示すものである。即ち輸出が減少した原因は左の如きものである。

一、歐洲諸國に於ける生產高が段々回復して來た事。

一、加奈陀、アルゼンチン及び濠洲の輸出が增加した事。

◉生產過剩

米國は小麥の輸出が斯く減少して來たに伴れて生產も制限したであらうか否、產額は其割に減少してゐないのである。然らば世界全體に就て言へば小麥の生產高はどうであらうか。或る人の調べた所によると一九二三—二四年度の世界の小麥產額は露國を除いて三十四億ブッシェルで前年の三十一億に比較すると三億ブッシェル方の增加

であると。今表で示すと左の如くである。（單位百萬ブッシェル）

	世界產額	米國產額
一九〇九年	三、五八一	七〇〇
一〇年	三、五七五	六三五
一一年	三、五五一	六二一
一二年	三、七九一	七三〇
一三年	四、一二七	七六三
一四年	三、五八五	八九一
一五年	四、〇九四	一、〇二五
一六年	三、一五三	六三六
一七年	一、九一六	六三六
一八年	二、三五八	九二一
一九年	二、五七一	九六七
二〇年	二、八八七	八三三
二一年	三、〇九七	八一四
二二年	三、〇九六	八五六
二三年	三、四〇〇	七八五

（▲注意　世界產額中一九一六年以降は露國產額不明に付含まない。）

露國は戰前約七、八億ブッシエル、多い時は十億ブッシエルの生産をしてゐた。現今は多少の減收であるとしてもこの露國の産額を加ふれば多分世界産額は四十億に達するであらう。この生産增加の結果は當然在荷の增加となつて現はれるのである。或る人の調査に據れば本年（一九二四年）七月の端境期に於ける世界小麥の在荷高は平年よりは二億乃至三億ブッシエルの激增を來すであらうと云つてゐる。ブラッドストリート誌の調査によればロッキー山脈以東に於ける米國、加奈陀の小麥在荷高は本年一月十九日現在で二億ブッシエルある。前年同期の在荷は一億四千萬ブッシエルであつたから本年は實に六千萬ブッシエルの增加であるさうである。小麥の生産過剩は世界を通じて今や蔽ふ事の出來ぬ事實である。米國の百姓が困つたり銀行の休業が續出したりするのも畢竟これの結果に外ならぬのである。所で米國は之れに對して如何なる救濟手段を講じたか。

◉救濟の方法

（一）關稅引上

米國に於ける小麥相場の暴落は前述の如く生産過剩と需要減退とが主因であるが、又加奈陀産の小麥に壓迫されることも一原因である。加奈陀の小麥に壓迫されるのは加奈陀の方が米國より相場が安い結果である。本年三月上旬市俄古に於ける五月渡の相場は一弗十一仙であつたが加奈陀ウィニペッグの相場は一弗二仙で約九仙方安いのである。斯樣に加奈陀の相場が安い原因は全く生産費が米國より安い爲めである。昨年産米國小麥の生産費は一エーカーに付十六ブッシエルの收穫があるものとして一ブッシエル當り一弗二十三仙に當る。然るに昨今の平均相場は一弗十一仙であるから一ブッシエルに付凡そ十二仙宛損を蒙つてゐる譯である。米國政府は昨年十一月以來加

奈陀に於ける小麥生產費を調査中であつたが最近漸く判明した。これによると一ブッシェルに付五十三仙乃至一弗三十一仙である。然るに米國產春蒔小麥は一ブッシェルに付き八十五仙乃至二弗十九仙を要してゐると。この調査の結果により米國產小麥が加奈陀產小麥に壓迫されるのは加奈陀の生產費が米國より遙に安い爲めであることを愈々確め得たので先づ第一に此の壓迫から救ふ事を考究した。この結果實行されたのが關稅引上げである。即ち米國政府は本年三月七日布告を發して小麥及び小麥粉の關稅を左の通り引上げ四月六日より實行する旨發表した。

		新稅率	舊稅率
小麥	一ブッシェルに付	四二仙	三〇仙
小麥粉	百封度に付	一〇四仙	七八仙

因に今迄の稅率は一九二二年九月以來實施されてゐるもので大統領は必要に應じ五割以內は勝手に增減し得る規定になつてゐる。此權能を實際に使用したのは今回の改正が初めてゞある。兎に角安い加奈陀小麥の侵入を防ぐには右の樣に關稅の墻壁を高くする必要があるのであらう。

（二）戰時金融會社存續

西北部に於ける銀行の窮境を救ふには聯邦準備銀行の出動が必要であるが、聯邦準備銀行が貸出を行ふに當つては中々嚴重な規則があつて怪しげな有價證券の擔保では貸出は出來ないことになつてゐる。依つて是等の休業銀行を救ふには是非共他の力を借る必要があるので大統領は戰時金融會社（War Finance Corporation）の存續期間を十ヶ月間延長する法律案を議會へ提出せしめた。即ち同會社は本年二月限りて廢止される筈であつたが十ヶ月延長して本年十二月末迄仕事をさせ樣と云ふのである。同會社は過去二年間に地方銀行に金を融通したもの四千三百行に及び其他銀行以外の商工業組合にも多數の貸出を行ひ成績が頗る良かつたのである。今回の西部諸銀行の救濟

にもこれに當らせ様と云ふ譯である。

（三）一千萬弗會社設立

右に次いで本年二月下旬新に一千萬弗の會社が設立された。これは二箇の會社から成り立つてゐる。その一は農業金融會社（Agricultural Credit Corporation）と云ひ他は農業証券會社（Agricultural Securities Corporation）と云ふ。目的は勿論西北部の農民救濟と休業中の銀行援助にある。而して二箇の別々の名を付けてあるのは一は專ら社債を發行し、他は專ら金融の本務に當る爲めである。南北ダコタ、ミネソタ、モンタナの四州に於ける諸銀行からは新設會社に對し金融を申込み、同社は既に之れを受理して調査に取り掛つたさうである。新設會社の理事が語る所に據ればこの調子で六ヶ月間活動してその結果小麥の相場が回復し、且つこの會社の外にも後述のカウルタア氏の救濟案が成立すれば現在窮境にある諸州の四分ノ三は確に救濟出來るとの事である。因に此の會社の本社はミネアポリスに置かれてある。

（四）根本的救濟の三案

根本的救濟は前述の方法だけでは不十分である。然しこの根本案は多大の金を必要とするので目下議會に提出され考究されてゐる。その案は三つある。順次左にその概要を記して稿を終らう。

（A）ノリス法案

ノリス案と云ふのは上院議員ノリス氏（George W. Norris）及び下院議員シンクレア氏（James H. Sinclair）が議會へ共同提出した法律案である。この案の骨子は左の如くである。

一、一億弗の資本金を有する聯邦會社を組織する事。

一、小麥を容れる多數の倉庫を新造するか買收する事。
一、生産者や商人に代つて小麥其他農産物の賣買を行ふ事。
一、農産物の賣買及び輸出を爲すに必要な資金を融通する事。

而して結局の目的は『生産者の手に入る報酬を增加し同時に消費者の拂ふ値段を安くする』と云ふので頗る具合の好さゝうな案である。然しこれは一般商人の商賣を政府に取り上げるものであると云ふので大分反對がある。

（B）マクネリー法案

マクネリー案と云ふのは上院議員マクネリー氏（Charles L. McNary）及び下院議員ホウゲン氏（Gilbert N. Haugen）が議會へ提出した法律案である。農務長官ウォレース氏はこの案を以て非常に好い案であると云ひ一般にも評判がよい。この案の骨子は左の通りである。

一、計畫機關として農産物輸出委員會（U. S. Agricultural Export Commission）を作り農務長官を委員長とす。實行機關として農産物輸出會社（U. S. Agricultural Export Corporation）と云ふ資本金二億弗の會社を造る事。
一、農産物相場が一般物價に較べて戰前より安くなつた場合には委員會は農産物に對して比例値段（Ratio Price）を適用する。これは相場の公定ではなくて常に相場を變更する事になる。言葉を換へて言へば戰前の小麥相場と一般物價との比例よりも現在の比例の方が惡くなれば比例相場即ち戰前と同じ比例の相場を定めて百姓の困らぬ樣にしようと云ふのである。而して輸出會社は剩餘小麥をこの比例値段で買取り世界一般の小麥相場で輸出し樣と云ふのである。
一、而して如何にしてこれを實行するかと云ふに、例へば世界の小麥相場が九十仙になつたと假定し、比例相場が一弗七十仙であるとする。此の場合百姓は九十仙とその外に書付を一枚貰ふ。この書付は季節の終りに相當の金と交換して貰へるもので

ある。比例相場が一弗七十仙ならば米國內地相場は矢張りその邊で保合ふてあらう。勿論關稅はウンと高くして外國小麥の侵入を防ぐ。而して季節の終りになるとその季節中に輸出した額と內地の消費とを計算する。そしてその金額の內より會社の取扱費其他諸費用及び囊に百姓へ現金で拂つた一ブッシェル九十仙を差引いた殘りが前記の書付に相當する金額で之れを百姓が貰ふことになるのである。

（C）ノーベック法案

ノーベック法案と云ふのは上院議員ノーベック氏（Peter Norbeck）及び下院議員バートネス氏（Olger B. Burtness）が議會へ提出した法律案である。この案は一名カウルター案とも稱せられる。元來此案は北ダコタ農科大學教授カウルター氏（John Lee Coulter）の考案に成つたものであるからである。この案の骨子は左の如くである。

一、小麥ばかりに賴らず外の農事をも兼營して昨今の樣な不況が起つても困らぬ樣永久的自衛策を樹立する事。

一、この目的に使用する爲め政府は七千五百萬弗を支出する事。

一、この金はなるべく多數の百姓に洩れなく貸し與へその金額は一人平均四百弗乃至六百五十弗位宛とする事。

一、この金の使途は家畜や家禽を買ふ資金に充當する事。

この案は大統領も贊成してゐるので多分議會を通過するであらうと云はれてゐた。然るに三月十三日上院はこの案を上程採決した所四十一票對三十一票の差を以て否決して終つた。

米國と小麥問題　終り

年＼月	一月	二月	三月	平均
1913	95 3/8 – 91 1/8	94 5/8 — 92	93 — 88 1/2	98.6
1914	94 3/8 — 90 7/8	95 1/2 — 92 1/2	94 3/8 — 90 5/8	100.5
1915	152 — 129 7/8	167 — 146	160 — 135 3/4	130.7
1916	138 1/8 – 121 7/8	136 — 108	116 1/4 – 105 7/8	135.1
1917	191 — 170 1/4	182 1/2 – 154 1/2	198 7/8 – 175 3/4	227.8
1918	218 — 217	220 — 217	223 — 217	220.9
1919	245 — 223	236 — 223	257 — 228	253.7
1920	350 — 250	278 – 235	290 — 250 1/2	252.2
1921	175 1/2 — 148	165 1/2 – 140 3/4	164 1/4 – 137 1/2	143.7
1922	119 7/8 – 107 1/2	149 7/8 – 118 1/8	148 – 128 1/2	124.1
1923	122 1/2 – 115 1/4	124 7/8 – 116 1/4	123 1/8 – 116 1/4	117.1

〔備考〕六月及び七月は七月限、其他は五月限定期相場の高低。但し一九一七年八月より一九二〇年十一月迄は定期取引を停止したるに付市俄古現物の高低を示す。

市俄古小麥相場過去十一箇年各月高低表 (單位 仙)

年＼月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
1913	95 3/8—91 1/8	94 5/8—92	93—88 1/2	93 3/8—89 1/2	92 3/4—88 3/8	93 5/8—89 3/8	90 1/2—84	98 1/4—93 3/4	97 7/8—91 1/2	92 3/4—86 3/4	92—88 3/4	92 5/8—89 5/8	98.6
1914	94 3/8—90 7/8	95 1/2—92 1/2	94 3/8—90 5/8	93 1/4—90 1/8	100—92	88—76 3/4	97—76 5/8	125—95	132—110 1/4	122 7/8—111 1/4	124 1/2—117 1/8	131 1/2—119 1/2	100.5
1915	152—129 7/8	167—146	160—135 3/4	165 1/2—151	164—137	124 5/8—100	118—105 1/4	114 3/4—95 3/4	101 3/8—93	110 1/2—96 3/4	108 7/8—102 1/4	129—107 1/4	130.7
1916	138 1/8—121 7/8	136—108	116 1/4—105 7/8	121 1/2—111 3/8	118—104	108 3/8—99 1/2	122 1/2—101	158 1/2—137	158 1/4—144 3/4	188 1/2—154	195 3/4—170 3/4	182 3/8—153 1/2	135.1
1917	191—170 1/4	182 1/2—154 1/2	198 7/8—175 3/4	279 3/4—195 1/2	325—255	240—193	274—201	300—212	230—217	220—217	220—217	220—217	227.8
1918	218—217	220—217	223—217	220—217	220—217	220—217	232—223	234—223	229—223	228—223	229—223	242—223	220.9
1919	245—223	236—223	257—228	292—240	280—245	251—228	270—223	258—220	285—223	288—223	322—224	350—238	253.7
1920	350—250	278—235	290—250	305—263	345—283	313—275	300—229	286—222	274—228 1/2	239—196 1/4	224—158	164 3/4—150 1/2	252.2
1921	175 1/2—148	165 1/2—140 3/4	164 1/4—137 1/2	140 1/2—119 1/2	187—132	143 1/2—118	135 1/4—115	131 1/2—122 1/4	142 3/4—123 3/4	125 3/4—107 1/4	118 1/4—103 1/4	119—110 3/8	143.7
1922	119 7/8—107 1/2	149 7/8—118 1/8	148—128 1/2	149 1/8—128 3/4	147 1/2—116	119 3/4—108 3/8	118—105	114 1/4—104 3/4	113 5/8—104 1/2	114 5/8—107	118 3/4—111 5/8	126 3/4—114 1/2	124.1
1923	122 1/2—115 1/4	124 7/8—116 1/4	123 1/8—116 1/4	127 1/4—119 1/2	120 3/8—112 1/8	112—101 1/4	104—96 3/4	113—104 3/4	112 1/2—107 3/8	114—109 3/4	112 3/8—106 1/4	111 1/2—106 1/8	117.1

〔備考〕六月及び七月は七月限、其他は五月限定期相場の高低。但し一九一七年八月より一九二〇年十一月迄は定期取引を停止したるに付市俄古現物の高低を示す。

大正十三年五月廿二日印刷
大正十三年五月廿五日發行

編輯兼發行者　東川嘉一
大阪市東區北濱五丁目十二番地

印刷者　谷口默次
同市北區堂島裏三丁目十五番地

非賣品

國際小麥電報

は左記の通り世界の小麥相場を左右する市俄古市場の相場及び市況の報道に重きを置き

市俄古（週報、定期相場三限及び統計類）
ポートランド　マニトバ第二號相場
ウイニペッグ　定期相場三限月
晩香坡（ウエスタン・ホワイト一號相場）
メルボルン　濠洲各地の相場
ブリヴアール　定期相場三限月

尙ほ其の他各地の相場を日々速報します。業界の羅針盤として御購讀を御勸めします。

國際通信社

			電話番號
東京	麹町區内幸町一丁目五番地	青山	二六一六
大阪	東區北濱五丁目一二番地	本局	二二〇〇 二二〇一 三八四〇 四〇〇七
神戸	仲町十五ビルディング	三宮	一七四九 五〇〇八 五〇三〇
横濱	南仲町一ノ三	本局	二四二九 四八四〇
名古屋	西區上園町三丁目一九	本局	七四九六
京都	下京區富小路五條上ル	下	五〇七九
下關	阿彌陀寺町		一四五四
福岡	春吉町渡邊通四丁目		一六二五 八五三
長崎	梅香崎町		一七三一 二二三
大連	紀伊町五七地		三六一五 四〇七六 五五一五 六四二六

393
65

終